

# 令和8年度 稲取高校部活動ガイドライン

## 1 部活動における本校の教育目標の位置づけ

スクールポリシー	校訓「誠・愛・力」を基に作成したスクールポリシーに見合う生徒を育成するための部活動を推進する。 「誠」(まこと)は誠実な心、「愛」(いつくしみ)は他人を思いやる心、「力」(つとめる)は最後まで諦めずに努力する心(詳細は、学校経営計画書を参照)
スクールポリシーの具現化の柱	ア 基本的生活習慣を確立し、規範意識を醸成するとともに、たくましい心身を育成する。 イ 豊かな人間性と人権意識の育成を図り、生徒が主体的・協働的に行動する教育活動を実践する。

## 2 部活動の取組内容と成果目標

区 分	目 標
活動内容と具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>○計画的で効率的な練習を行うように努める。</li> <li>○日頃の活動や大会等への参加を通して、目標に向かって努力する態度と基礎的な実践力を養う。</li> <li>○平日は19時を目途とし、家庭学習時間の確保に努める。</li> <li>○1日の活動時間は、原則平日2時間程度、週休日は3時間程度とし、合理的かつ効果的な活動となるよう努める。</li> <li>○長期休業中に一定期間のオフシーズンの設定など年間100日程度の休養日を設けるよう努める。</li> <li>○各部活動計画の保護者への通知を徹底する。</li> <li>○定期試験1週間前から試験勉強の時間を確保する。その期間に大会等がある場合は申請し部活動をおこなう。</li> </ul>
成 果 目 標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○東海大会出場2部活以上</li> <li>○県大会出場4部活以上</li> <li>○「本校では地域との連携が積極的に行われている」と答える生徒・保護者95%以上</li> </ul>

### ※運用上の留意点

試合期等でまとまった練習等の時間が必要な場合や、週休日に練習試合を計画している場合等は柔軟な対応を可能とする。この時、活動計画に記載されなく、変更を余儀なくする場合には、適切に保護者や生徒等に示す。

## 3 部活動の活動計画表等の作成及び公表

年間活動計画もしくは、月間活動計画を作成し、生徒に配布する。